

2025年度

児童・少年の健全育成助成 生き生きシニア活動顕彰 助成・顕彰団体決定

今年度は全国で323団体・1億5,779万円の児童・少年の健全育成助成と
230団体・1,150万円の生き生きシニア活動顕彰を実施します。
財団設立からの累計(1979年～2025年)は、18,700団体・94億円になります。

大阪府では、児童・少年の健全育成助成

日本ボーイスカウト大阪連盟 みしま地区 吹田第19団 はじめ 13 団体
が

決定いたしました。

生き生きシニア活動顕彰 6団体 が決定いたしました。

1979年の助成開始から47年の累計は

大阪府内 683団体 3億7,950万円 となりました。

2025年7月

公益財団法人 日本生命財団

この件に関するお問い合わせ先

〒541-0042 大阪府中央区今橋3-1-7

日本生命財団 助成事業部

TEL : 06 (6204) 4014

FAX : 06 (6204) 0120

日本生命財団は、日本生命保険相互会社が創業90周年を迎えるに当たり、より継続的かつ普遍的な社会貢献を行うため1979年に設立された助成型財団です。

以来「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として、児童・少年の健全な育成、高齢社会福祉、環境問題などの分野を中心に助成活動を行っております。

ホームページ <https://nihonseimei-zaidan.or.jp>

大阪府への助成累計は683団体――3億7,950万円になりました

日本生命財団は、1979年の設立以来、児童・少年の健全育成に取り組んでいる団体に対して、活動に必要な物品を助成してまいりました。

児童・少年の健全育成助成
今年度は13団体に697万円を助成

また、元気で活力に満ちた高齢者が主体となって地域貢献活動を行う団体を顕彰しております。

生き生きシニア活動顕彰
今年度は6団体を顕彰

～助成・顕彰団体への目録贈呈式を全国の都道府県で開催～

目録贈呈式を次のとおり開催いたします。

日 時	7月3日(木) 午後1時30分～
場 所	ホテルプリムローズ大阪 2階 鳳凰
出席者	受 贈 者：19団体 大 阪 府：副知事 渡 邊 繁 樹 様 日本生命：本店公務部公務部長 田 島 清 史 ニッセイ財団：理事長 長 谷 川 靖

2025年度ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成(物品助成)の概要

未来をになう子どもたちが、心ゆたかに成長することをめざして

日本生命財団は、1979年7月の設立以来、人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資することを目的として活動しております。

児童・少年の健全育成には、地域社会を構成する住民や諸組織が手を携え、地域活動の一環として、子どもたちの生きる力を育んでいくことが必要です。
このような活動に定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間の団体・グループに対して、その活動に常時・直接必要な物品を助成しております。

おかげさまで財団設立以来47年継続して、全国1万5千を超える団体に助成

児童・少年の健全育成助成(物品助成)は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

助成金額は、1団体30万円～60万円です。

助成物品は、助成対象活動を継続的に展開するためにはなくてはならない直接活用物品で、子どもたちが待ち望み、子どもたち自らが主体的・継続的に共有して活用する物品としております。

- ◆2025年度は、全国各地の323団体に総額1億5,779万円の助成を行います。
- ◆財団設立から47年の累計実績は、1万5千団体・92億円を超えております。

子どもたちの生きる力を育むさまざまな活動を応援

次のような活動を行っている団体に助成いたします。

<2025年度助成323団体の内訳>

「自然と親しむ活動」	41団体	野外活動、自然体験活動、自然観察、天体観測、自然・森林の保護活動、野外活動を通してのジュニアリーダー育成活動
「異年齢・異世代交流活動」	158団体	異年齢集団の交流活動、地域に根ざしたスポーツ活動、芸術活動、郷土文化芸能の保存伝承活動
「子育て支援活動」	71団体	子育てサークル活動、子育て支援ネットワーク活動、地域に根ざした文庫、読み聞かせ、人形劇活動、児童少年の居場所づくり支援活動、子ども食堂、学習支援活動(フリースクールを除く)
「療育支援活動」	20団体	障がいのある子どもたちの療育支援活動、ノーマライゼーション推進活動
「フリースクール活動」	33団体	フリースクール運営活動 (不登校の小中学生・高校生を対象とした活動)

情報誌「F u - m i」の発行

当助成が多くの方々のお役に立つことを願い、助成制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容および助成物品の活用事例などをご紹介します情報誌「F u - m i」を発行しています。

*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

2025年度ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰の概要

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動に対して

わが国は少子高齢社会を迎えており、元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動が注目されています。

日本生命財団では、高齢者が主体となって行う地域貢献活動を顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

2007年の制度発足からこれまでに3,690団体を顕彰

生き生きシニア活動顕彰は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

児童・少年の健全育成活動、地域づくり活動、高齢者支援活動、障がい者支援活動などの高齢者による“生き生きシニア活動”に取り組む民間の団体・グループに対して、1団体5万円の顕彰を行います。

- ◆2025年度は、全国各地の230団体に1,150万円の顕彰を行います。
- ◆2007年の制度発足からの累計実績は、3,690団体・18,450万円となっております。

さまざまな“生き生きシニア活動”を応援

次のような活動を行っている団体を顕彰いたします。

<2025年度顕彰230団体の内訳>

「児童・少年の健全育成活動」	36団体（登下校時見守り活動、伝承芸能の継承等）
「障がい者支援活動」	14団体（手話・点訳・朗読ボランティア活動等）
「高齢者支援活動」	132団体（高齢者向けサロン、訪問ボランティア等）
「地域づくり活動」	48団体（環境美化・環境保護活動、ボランティアガイド活動等）

情報誌「F u - m i」の発行

当顕彰が多くの方々のお役に立つことを願い、顕彰制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容などをご紹介します情報誌「F u - m i」を発行しています。

＊当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

以 上